

館長よりご挨拶

大阪市立科学館長 吉岡 克己

いよいよ大阪・関西万博の開幕です。会場の夢洲では未来社会をイメージさせる様々なアイデアが紹介され、来場者のワクワクする気持ちが溢れることでしょう。

人間は想像できることは実現していく力を持っています。私は、その根っこにあるのが科学への探究心だと考えています。科学への探究心がワクワクという栄養を吸収して、いずれ想像したステキな花を現実に咲かせてくれるのです。



大阪市立科学館は昨年8月に展示場を再構築して新しいスタートを切りました。新展示場4階のフロアテーマは「科学の探究」です。ここでは、リアルな現象を体験できる現象型の展示装置を中心に現象・原理を楽しむ展示が人気です。けれども、「科学の歴史とあゆみ」エリアでは、体験だけでなく歴史的背景を資料やグラフィックで紹介する工夫もしています。これは、現代科学は長年にわたる人間の努力の成果であることを知って欲しいためです。

また、人が作った科学技術の発展には、研究者の個性や地域性なども関わってきます。そこで、大阪の科学館として、大阪の地と科学のつながりを紹介する「大阪と科学」エリアも新設しました。ここでは、大阪に関連する科学技術史資料をはじめ、当館の前身であって、日本初の科学館と言われる大阪市立電気科学館の展示も紹介しています。まずは地域のみなさまにそして、万博を機に来阪される国内外のお客様に当館からも大阪と科学、そして科学の探究のメッセージをしっかりと発信したいと思います。

大阪・関西万博の開催にあたり、1970年の日本万国博覧会を懐かしく思い出される方も多いと思います。将来同じように2025年が万博開催の年としてたくさんのみなさまに科学への探究心とともに思い出してもらえる年になることを願いつつ、当館もスタッフとともに微力を尽くして参ります。